

県士会ニュース



Kanagawa Association of Occupational Therapists —KAOT—

Contents

TOPIC

研修会開催報告 精神科作業療法における評価法と面接技術……………2

巻頭言……………	1	事務局からのお願い……………	8
連載 生活行為向上マネジメント……………	2	作品大募集！……………	8
連載コラム ちょっと一杯どうですか？……………	3	編集後記……………	8
各部からの報告……………	4		
研修会案内……………	6		
求人案内……………	6		

作品募集！詳しくは裏表紙へ！



巻頭言

参加することの意義

(一社) 日本作業療法士協会 常務理事 荻山 和生



平昌五輪開会式の翌日、貴士会広報担当理事の神保氏から、本稿の依頼を受けました。第16回世界作業療法士連盟大会(2014年)では貴士会の皆様に多大なご協力とご参加を賜り、さらに今回、このような機会を頂き、重ねて心から御礼を申し上げます。

活動と参加

「L'important, c'est de participer, 参加することが重要だ(に意義がある)」は、近代五輪の父、フランスのクーベルタンが広めたとされています。実はこの言葉、アメリカのタルボットが、1908年のロンドン五輪に参加したアメリカ人選手に話した内容を要約した言葉であると伝えられています。当時、米国と英国間では国交上の緊張が高く、勝利することよりも、むしろ参加したという事実の方が重要だったからのようです。

生活機能分類(ICF)では「参加とは生活・人生場面への関わりのことである」と定義されていますが、この「参加」の捉え方が作業療法での関わり方と成果を大きく左右します。

例えば精神科では同じ作業療法室の活動に、馴染みの人が多い中では参加できていながら、はじめての人が多い時には参加できない人がいます。活動はできる(している)のに、参加が困難なのです。どうやら参加とは、自分が大丈夫だと思う場から、少し不安のある他の場へ関わることの要素が強いです。つまり、自分にとってawayな場へと踏み出すことが、参加の大きな意義と言えます。

そう捉えると、たとえ病室内であっても日々新しいこ

とに挑戦し自信を取り戻し、少しずつでも異なる場面へ1歩踏み出している人は、「参加」に取り組んでいると言えます。逆に自宅から毎日デイケアに通い活動をしている人でも、そこだけを居場所として1日中同じ椅子に座り、新しいことには何も挑戦せず「私のことは放って置いて」という人には、どこか参加の支援方法を変える必要があると感じてしまいます。参加とは活動の場の広がりを目指すのではなく、心身の挑戦の広がりを意味すると捉えると、支援のポイントは自然に変わってくることでしょう。

指定規則改定と新しい臨床実習教育

この春、作業療法士学校養成施設における指定規則が変わります。これに伴い東京五輪が開催される2020年度入学生から新しい臨床実習指針が適用されます。実習を行う場所は同じであっても、多くの教員や臨床実習指導者にとって、これまでのスタイルとは異なる新しい方式に参加することになります。そうなるからも、良質の作業療法士を世に送り出すために、私たちも新しい実習のあり方を学ぶ実習指導者講習会に参加する必要があります。指導者自身が「参加することの意義」を見極められる作業療法士となり、「参加を恐れず挑戦し、対象者の参加を促すことのできる」学生の育成を目指したいものです。

平昌ではパラリンピックが始まろうとしています。参加することの意義に注目し、活動と同様に個々が障害を越えて挑戦し参加できるよう支援する作業療法士が増えることを願っています。



生活行為向上 マネジメント

会員諸氏におかれましては生活行為向上マネジメントの普及推進にご協力いただき御礼申し上げます。

今回は事例登録についてお伝えいたします。

既にご存知の通り、生活行為向上マネジメントは研修会（旧基礎研修会）を受講後に事例発表もしくは事例登録を行うことで一連の教育課程が修了したとみなされます。

事例登録の際にはいくつかの注意点がありますが、この注意点を踏まえていないと厳しい判定を通過することが出来ません。今回は協会の担当者からご指摘いただいた注意点についてまとめましたので以下をご参照ください。

《生活行為向上マネジメントシート》

- 1) キーパーソンが存在するにも関わらず、キーパーソンの意向が聞かれていない
- 2) 合意した目標が具体的な生活目標になっていない
- 3) タイトルと目標との解離が見られる
- 4) 合意した目標に対する生活行為プランが不十分
- 5) 短期目標に限定した内容で、対象者の生活行為に焦点化されていない
- 6) 一動作を練習するのみで、生活面（居宅生活を視野に入れた）のプランが入っていない
- 7) 趣味活動を遂行するプランのみで表現されている
- 8) 具体的なプログラム内容が記載されていない
- 9) 多職種との連携が記載されていない
- 10) 社会適応プログラムの記載がない
- 11) 退院後の生活をイメージした視点がない

《課題分析モニタリングシート》

- 1) 課題個々の要因分析・課題解決目標・（チームの）総合的援助方針と合意した目標の内容が合致していない
- 2) 短期目標に限定して書かれていて、目標となる生活行為が記載されていない
- 3) 趣味活動への関わりのみであり、生活全体への広がりについて検討されていない
- 4) 退所（退院）に向けて生活行為をどうするのかという視点（考察）の記載がない

《一般情報シート》

- 1) 生活歴の情報が具体的に記載されていないため（そもそも聞き取りが不十分）、対象者の生活がイメージできない
- 2) 生活歴や興味などに関する記述がないので、介入の関連性や意味づけがわからない

《本文》

- 1) MTDLP をトップダウンのみで行うアプローチという誤った認識の報告である
- 2) OT としての専門的なアセスメントの不備が多い
- 3) 合意形成が不十分なまま、介入を行っている
- 4) 目標と生活課題を対象者やキーパーソンと共有できていない
- 5) 合意目標となった生活行為が対象者にとって、意味・価値を持ったものなのか読み取れない
- 6) 心身機能の回復を促すプログラムに終始して活動と参加を促進する実践ができていない
- 7) 多職種連携が院内スタッフのみで、在宅を見据えているのに院外との連携が不足している
- 8) 支援者がOTのみで、他職種の介入や支援内容が入っていない

《今年度の MTDLP 関連研修》

2018年3月17日（土）事例発表

※詳細はウェブサイトでご確認ください

（文責：生活行為向上マネジメント推進委員会 木村修介）

研修会開催報告

精神科作業療法における評価法と面接技術

藤沢病院 西前 英紀

学術部スキルアップ事業（精神分野）では、年3回、知識技術の向上を目的に研修会を開催しています。今回は2017年12月19日（日）に行われた、みやぎ心のケアセンターの香山明美先生の「精神科作業療法における評価法と面接技術～ストーリーの共有を目指して～」についてご報告します。香山先生は精神科病院での臨床を経て現在地域でのメンタルサポートに関わっています。どの領域においても新しい道を切り開いてきており、精神科作業療法士としてのモチベーションの高さに感動する内容ばかりでした。内容についてですが、「面接の種類」について6つに分け、（1. インテーク面接 2. データ収集のための面接 3. 目標設定と治療（支援）計画を立てるための面接 4. 再評価のための面接 5. 終結のための面接 6. 治療としての継続面接）回復過程にそった面接のポイントについての講義や「作業療法としての面接の要点」として（1. 障害を見つめる 2. 良いところ探し 3. 当たり前の生活 4. 価値観にとらわれない 5. 環境へのアプローチ 6. 客観的な情報に裏づけられた主観的な判断）をあげ具体的な事例を交えながら講義頂き

ました。どれも対象者のストレングスに着目したものであり、それは作業療法の特徴ととらえることが出来ると強く感じました。後半は公開スーパービジョンを行い、新人さんの事例を通して情報収集の仕方、目標設定の仕方についてフロアも交えディスカッションしながら、より効果的な研修になりました。

最後に先生より「技法や理論を超えて、対象者に治療者の正直さが伝わり、治療者が自分自身に気づいていく作業を行うことが重要」という言葉があり、そのためにはスーパービジョンや事例検討会を重ね自己研鑽を積んでほしいとのメッセージがありました。今後もスキルアップ事業（精神分野）では、会員のニーズに合わせ魅力的な研修を企画していきたいと考えています。部員一人一人が自分自身の臨床を振り返り、アイデアを出しあいより良い研修にするため毎年励んでいます。研修の企画に興味のある方、部員も募集していますので、ぜひご連絡下さい。

※今回の研修の内容を学びたい方は三輪書店「作業療法の面接技術」を参考下さい。

作業療法の 面接技術

ストーリーの共有を目指して





ちょっと一杯 どうですか？

No. 5 それぞれのよさ



『おじちゃん』って近所の子供たちに呼ばれている私も、自宅近くの病院に勤務する作業療法士。病院では、誰からも『〇〇先生』と呼ばれている。

先日受け持った患者さん。91歳のおばあちゃん。84歳のおばあちゃん。78歳のおばあちゃん。みんな元気に入院生活を楽しんでいる!? 「ADL向上」という飾りっ気のない目的での依頼だが、それぞれのADL能力の向上目的に、体力・気力作りに立位・歩行訓練を行っている。正直、私は単なる機能訓練を目的にリハビリはしない。場の空気が楽しくなる設定を好む。ある時、91歳と78歳のおばあちゃんを平行棒の端同士に設定した。一人歩いたら、もう一人、と言う感じでの歩行訓練。片道3.5Mの平行棒。彼女たちにとっては長い距離。『いちに、いちに、いちに、もう座りたい!』と途中の3M付近で椅子を用意する。すると、必然的にもう一方の方と向い合せとなる。『あら、よく頑張っているわね。たいしたもんよ。私も見習わないとね。』と、91歳のおばあちゃん。“ヤダわ～そんな見習うものなんかないわよ。ハッハ。すぐ疲れちゃってね、駄目よねえ。だからすぐ先生(私)に怒られちゃう、ねえ先生!? でも、頑張んなきゃね。一生懸命やしないと家に帰れないからね。家に帰りたい一心で頑張ってるの”と78歳の力説。『そうよ、頑張れば家に帰れるわよ。頑張って!! 私も一生懸命やしないとねえ。ねっ先生。ハハハ…』。“ハハハ…”。実はこのコンビは最強コンビ。リハ室のムードメーカー。周りの人もそのひととき大きな声で元気一杯の会話を楽しんでいる。毎日同じ予約設定だけど、『あら、またご一緒出来ましたね』“ホントね”と、毎日互いに声を掛け合い励まし合っている。なんとも場が和む朝のワンシーン。91歳のおばあちゃんは大正生まれ。身長120cmと小柄だ。若いころは148cmだったらしい。『もう圧迫骨折する骨もないから、これ以上は縮まないと思うんだけど、ハハハ!!!』と人一倍元気。家では朝の2時に寝て夕方4時に目が覚める生活。昼間の殆どは睡眠時間らしい。病院に入院することで本来の生活リズムが狂ってしまうの・・・と言っている。日中起きていることが正しい生活リズムではない、とさりげない教示。なるほどなあ、我々は相手に合わせた生活を本当に考えられているか、もう一度自問自答する。OTだけじゃないけど“オモイコミ”や“サックグ”は意外にもそこらじゅうに転がっているような気がするなあ。

もう一人、84歳のおばあちゃん。今まで旦那さんをしっかり支え、いくつもの困難を乗り越えてきた。8年前に旦那さんを看取り、旦那さんが建てた一軒家に1人住んでいる。病気1つして来なかった健康体だったが、ここにきて体の調子が悪くなって入院したらしい。でも治療のお蔭で随分良くなって回復してきたけど、なぜか痩せてくる。StageⅣのがん…だった。本人はまだ知らない。先日感情的に私に言って

きた。『家に帰ってやり残したことが置き去りになったままなの。とても心配しているのに、転院・転院と二言目には転院としか病院の先生は言われないの。自分の居ないところで兄弟(キーパーソン)と話が進んでいるようで、先生も看護師さんも家は絶対無理、と結論ありきの話し方をしてくるの。どうしたことなのか、自分の意志をまるで無視されているようで、虚しくって、辛い限りです。こんな(病棟)生活はもう嫌。私が一生懸命に訴えても誰も聞いてくれない。だから頭に来て、この間まで出された食事一切食べずにいたの。でも、病院の人と抵抗するにもエネルギーが必要だから、食べ始めました。今回“どうしても!!”ってお願いして外泊を頼んだの。1泊だけだったら・・・って言うてくれたんだけど、いっその事、外泊したときに飛び降りてやろうかと思っています。もう生きる気力なんて無くなりました…。』と、私に訴えてきた。この方の気持ち…よく解るなあ。私もつい、“ちゃんとした説明がなされていないんですね。本人を置き去りに話が進んでいるのは私としてもどうかと思います。担当の医者やMSWにも聞いてみますね”と言って、カルテ記載情報やその他の情報を整理してから、その場でMSWに聞いてみた。その結果を本人にオブラートに適度な包み加減で伝える。『そうですか。色々と考えて下さっているってことなんですね。私も自分の事ですからこれからの人生を大切にするためにも、皆さん方とちゃんと相談していきたいと思います』と、先ほどまで私に訴えてきた焦燥感から落ち着きを取り戻した。

作業療法の場面は、機能訓練ばかりではない。私はその大半を患者さんの時間としているので、話を聞くことが多い。内面にある葛藤は誰でもある。それが生きる目標を失う要因となる事ってよくある事。患者となるとやっぱり悲観的にもなるもの。そんな彼等の傍らにいただけでもなんとなく色々と感じるものだ。それぞれの患者さんに作業療法士ならではの優しさ溢れる時間作りも大切。今のお年寄りって、とても元気で気力も漲っているし、まだまだ若い。そう、これからの日本は、もっともお年寄りが社会の中心にいたことが当たり前となってくる時代になるだろうな。この国は自立を目指すお年寄りたちを、どう支援していくのだろう。高齢者と共に共存する社会構造やコミュニティーのあり方など、色々な課題を皆で考えたいですね。さあ、これから作業療法士は具体的に何をしていくべきでしょうか。真剣に考える時期に突入しています。「それぞれのよさ」を考えながら。

今回も登場した“おじちゃん”。OTを一生の仕事と決意し、長いOTの歴史と共に奮闘している“おじちゃん”です。あくまでもおじちゃん視点での作業療法学を織り交ぜた連載コラムです。面白エピソード満載です。次回もお楽しみに。

(文責：ペンネーム おじちゃん)

各部からの報告

制度対策部

●社会保障制度災害対策事業班

災害時の安否確認システムの予行演習に、ご協力ありがとうございました！

先日、県士会の広報とチラシでお願いした通り、安否確認システムの予行演習を実施いたしました。2月9日現在で、なんと281名もの参加をいただきました！！ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。このチラシだけが広報誌と別便で届けられるというアクシデントにも遭いましたが、その甲斐(?)もあってか、皆様の目に留まり易かったのかもしれませんが、今後、みなさまから頂いたたくさんの貴重な意見を参考にしつつ、より良い安否確認システムの構築につなげていきたいと思っております。また、一部、プルダウンの中で該当する抜けていた地域もありました。この場を借りてお詫びいたします。

(文責：西則彦)

●福祉用具対策事業班

研修会のご案内

「明日から使える環境調整スキル」について

福祉用具対策事業班では、今年度も福祉用具の選定の知識を学ぶ「明日から使える環境調整スキル」研修会を

5回のシリーズで開催していきます。テーマごとに専門の講師に、現場で実際に行っている技術を、実技を通じて学ぶことが出来る研修になっています。皆様のご参加をお待ちしています。

- ・第1回 「住環境編」 6月3日(日)
リハセンターとの連携、トイレと浴室の環境調整、建築士による住宅改修
- ・第2回 「シーティング編」 7月28日(土)
座クッションの選定、車椅子のシーティング
- ・第3回 「移動編」 9月1日(土)
車椅子の駆動の調整、屋外へのアプローチ
- ・第4回 「起居・移乗編」 11月4日(日)
マットレスの選定、ポジショニング、移乗関連用具の選定
- ・第5回 「重度障害の環境調整編」 12月1日(土)
STによる摂食嚥下の支援、ICTを利用した環境調整

- ※ 参加者：各10名
- ※ 受講費：県士会 2000円
他士会 4000円
- ※ 募集：県士会ウェブサイト
で募集します
(文責：中村元樹)



地域リハビリテーション部

平成30年1月21日、第2回神奈川県訪問リハビリテーション学術集会在横浜市社会福祉センターで開催されました。「とことん地域密着！！100%県民還元」というテーマのもと今回は1ホールでの開催となり、在宅りはびり研究所吉良先生によるストレングスリハビリテーションに関する特別講演や『目標設定』『活動・参加』『多職種連携』などをキーワードとした11題の口述発表、関連企業・団体によるプレゼンテーションが行われました。県内外の病院や老人保健施設、訪問看護ステーション所属のリハ専門職が146名集まり、そのうち作業療法士の参加は38名でした。

特別講演では、病気や障がいがあっても自分らしく主体的に暮らすことのできる地域包括ケアに向けて、対象者の『強み』に焦点を当てて生活課題分析から主体性を回復していくストレングスアプローチの視点を、私たち作業療法士が持つこ



第2回神奈川県訪問リハビリテーション学術集会 開催報告

とが重要であることとその効果を具体的に学ぶことができました。対象者の主体的な生活の実現を目指すために、本人とその家族、関連する多職種が一体となって生活行為を向上していくプロセスにおいて、『生活をよくする専門家』である私たち作業療法士が果たすべき役割は大きいと感じました。口述発表11題の中で作業療法士による演題は2題でありましたが、訪問リハをはじめとする生活期で活躍する作業療法士はたくさんいると思います。神奈川県訪問リハビリテーション学術集会是毎年開催される予定です。是非とも日頃の成果や思いを発表する機会としてご参加ください。



(2月20日付けの神奈川新聞に掲載)

地域リハビリテーション部

地域事業の実際！活動報告

相模原市緑区（旧津久井管内）にある、老健なごみの里勤務する須崎隆光 OT より地域の活動報告。私の職場にて、昨年度より毎月第1火曜日の半日開催。

初年度は、13時半～15時、今年度は、10時半～12時に実施しています。

「わくわくクラブ藤野」この他にも、この介護予防事業がきっかけで、地域の公民館や、参加者の方を通して他団体からの依頼があり、徐々にではありますが、広がりを見せているように感じます。



事業に参加している方いませんか

各市町村で総合事業の取り組みが本格化してきています。会員の皆様も地域事業に関わる機会が増えてきますので会員の皆様からも情報を得ながら県士会の事業も進めていければと考えています。ぜひ、会員皆様からも作業療法士が関わっている地域事業がありましたら情報提供をいただければと思います。地域リハ部だけでなく県士会全体で情報共有していければと思いますのでご協力の方をよろしくお願いします。

ご意見や情報がありましたら下記のメールアドレスまでご連絡をいただければと思います。

【問い合わせ】地域リハビリテーション部

Eメール：chiikireha@kana-ot.jp

(文責：遠藤)

教育部

県士会ウェブサイトから質問ができます！

連載「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」

年度末、間もなく新年度ですね。移動もあったりしてあれこれです。そのスタートの前に皆さんの生涯教育制度の進捗を改めて確認して、来年度の目標を立ててみませんか。また再開するのは勇気がいりますが、そういう人が増えています。認定作業療法士、意識せざるを得なくなり、キャリアとして必要となってきましたよ。

以下いくつか考えられることを書きますので、ぜひ生涯教育手帳をご確認ください。

1. **そう言われても自分の現状がわからない。どうすればいい？！**
→心配御無用。教育部までご連絡ください。次に行くことを一緒に検討しましょう。
2. **貼っていないシールがある。**
→すぐに貼って月日や内容をご記入下さい。
3. **研修会の参加証明書や県士会役員や部員、事業の当日運営委員等の委嘱状がある。**
→県士会事務局へポイント手続きする（参加証明書、委嘱状、手帳、OT協会会員証コピー、切手貼付・宛名明記の返信用封筒を県士会へ送付してください）。
4. **基礎研修がまだ終わらない。**
→まずは現職者共通、選択研修の修了、50ポイント取得して手続きへ。
5. **基礎研修は修了しているが、この先が…。**
→基礎研修修了期間内に認定作業療法士取得を目指し

ましよう。ちなみに申請には50ポイントは不要です。

→認定作業療法士の申請に至らなくても、5年以内に50ポイントたまったら基礎研修修了の更新をOT協会に申請して下さい。

6. **認定作業療法士にはなったが、更新期限が過ぎてしまい「もういいや！」とも思っているが、どうしたらいいか**

→期間延長や再認定試験を受験する等いくつか方法があります。以下にお問い合わせください。

7. **そんなこと言っても、全然わからないんだけど…。**

→いつでも以下にお問い合わせください。また県士会ウェブサイトの生涯教育制度コーナーからも質問できます。

8. **あと、新人OTたちに協会と県士会の紹介と入会を勧めてください。そして生涯教育制度を利用した自己研鑽を促してください。また協会、県士会どちらかだけの入会はできず、両会への入会が必要になっています。**

9. **この春、生涯教育制度が改定されます。内容をご確認いただき、ご自身にあった制度推進をお願いします。**

〈問合せ先〉

教育部 奥原孝幸（神奈川県立保健福祉大学）
046-828-2738（直）、kyoiku@kana-ot.jp

研修会案内

日常臨床のための対象関係論 横浜セミナー 第二期

主 催：横浜精神分析研究会
日 時：2018年4月より日曜日
場 所：八洲学園大学
U R L：http://yokopsy.com/index.php/objectrelations

横浜精神分析研究会（文献講読と症例検討）

主 催：横浜精神分析研究会
日 時：2018年4月から毎月 第2日曜日
場 所：港北区社会福祉協議会 他
U R L：http://yokopsy.com/index.php/meeting

平成30年度 力動的アプローチを実践したい 初学者のためのグループ・スーパーヴィジョン

主 催：横浜精神分析研究会
日 時：2018年4月から毎月 第2日曜日
場 所：心理オフィスK
U R L：http://yokopsy.com/index.php/groupsv

車椅子設計身体採寸と 適合選定セミナー ～セラピストの目線から車椅子を選定する～

主 催：日本ユニバーサル リハビリテーション協会

日 時：2018年4月18日（水）
場 所：調布市文化会館たづくり
U R L：http://universalreha.com/

第7回多職種リハビリ勉強会

『患者・利用者の「主体性の再構築」をデザインする！！』
主 催：神奈川県回復期リハビリテーションソーシャルワーク
-KRSW- 研究会
日 時：2018年4月21日（土）
場 所：横浜市開港記念会館
U R L：https://krs wreha.jimdo.com/

「クラインフォーゲルバッハの運動学とアフオーダンス」 富田昌夫先生

主 催：NDK 横浜研修
日 時：2018年4月29日（日）
場 所：ウイリング横浜
U R L：http://ndkyokohama.net/

ものづくりシーティングセミナー

原理編×工房実技編～シートクッションをつくらう～

主 催：日本ユニバーサル リハビリテーション協会
日 時：2018年4月30日（祝）
場 所：八王子市芸術文化会館いちようホール
U R L：http://universalreha.com/

求人案内

社会福祉法人 心の会

募集人員：非常勤 1名（OTあるいはPT）
施設概要：さくらの里デイサービス
仕事内容：デイサービスご利用のご高齢者様の機能訓練
個別機能加算に必要な計画、モニタリング、
アセスメント等、未経験可能
給 与：時給 2,200円
機能訓練加算担当手当 5,000円/月
待 遇：交通費全額支給（上限なし）、雇用・労災保険、
社会保険加入（希望者の場合）
車通勤可（無料駐車場有）、有給休暇有、制
服貸与、無料健康診断有、法人内の託児室利
用可

勤務時間：9：00～15：00の間の4時間
休 日：土・日・祝日、年末年始（12月29日～1
月3日）、
そ の 他：法人内の別施設の常勤OTがフォローします。
お子さんの病気等での欠勤、遅刻、早退に配
慮します。
応募方法：電話連絡の上、履歴書を持参又は下記宛に郵
送してください。
交 通：JR「衣笠駅」より徒歩20分、京急「横須賀
中央駅」よりバス「衣笠山公園」バス停より
徒歩5分

問い合わせ先 〒238-0026 神奈川県横須賀市小矢部 4-19-4
TEL（代表）：046-852-0500 FAX：046-852-4040
Email：odajima@sakura-asunaro.com URL：http://sakura2000.jp/
担当者：小田嶋、若命

医療法人社団 葵会 A O I 国際病院

募集人員：常勤 若干名
応募資格：作業療法士免許を有する方
業務内容：主に外来・入院患者に対する脳血管疾患、運動器疾患、呼吸器疾患、心大血管疾患等に対する機能訓練、ADL 訓練
待遇：当院規定による。経験年数加算。昇給年 1 回。賞与年 2 回。
 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災
勤務時間：8：30～17：30（休憩 1 時間）
休日：週休 2 日シフト制、有給休暇、特別休暇等、リフレッシュ休暇
その他：学会・研修会出張奨励、部活動あり
 リハスタッフ合同の定期的勉強会あり
応募方法：随時電話連絡の上、履歴書郵送願います

問い合わせ先

〒 210-0822 神奈川県川崎市川崎区田町 2-9-1
 TEL：044-277-5511
 FAX：044-277-5568
<http://www.aoikai.jp/aoiuniversalhospital/>
 担当者：総務課 森

帝京大学医学部附属溝口病院

施設概要：病床 400 床
募集人員：常勤 若干名
応募資格：作業療法士免許を有する方
給与：当院規定による。経験加算有り。
手当：規定に応じ交通費・住宅手当支給
勤務時間：平日 8：30～17：00
 土曜 8：30～12：30
休日：日曜・祝日・指定休日・創立記念日他
交通：東急田園都市線「高津」駅 徒歩 1 分
応募方法：履歴書（写真貼付）・免許証の写しをご郵送ください。
 ※まずはお気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先

〒 213-8507 川崎市高津区二子 5-1-1
 TEL：044-844-3471（総務課人事係 直通）
 Email：m-jinji@teikyo-u.ac.jp
 URL：http://teikyo-mizonokuchi.co.jp
 担当者：総務課人事係

医療法人社団康心会 康心会伊豆東部病院

募集人員：若干名
施設概要：回復期、急性期、通所リハ、訪問リハ等幅広く展開しています。
待遇：当法人規定により優遇。経験年数加算。
 昇給年 1 回、賞与年 3 回（4 ヶ月）
福利厚生：各種社保完備、退職金制度有り
勤務時間：8：30～17：00
休日休暇：4 週 8 休、有給休暇、年末年始、夏季休暇、特別休暇
応募方法：電話連絡の上、履歴書を持参又は下記宛に郵送してください。
交通：伊豆稲取駅からシャトルバスにて 5 分

問い合わせ先

〒 413-0411 静岡県賀茂郡東伊豆町稲取 17-2
 TEL：0557-95-1151（代）
 E-mail：izu-toubu@fureai-g.or.jp
 担当者：総務課 星野 友田

介護老人保健施設 えきさい横浜

募集人数：常勤 1 名
応募資格：作業療法士免許を有する方
仕事内容：要介護状態の高齢者への機能回復作業等
施設概要：介護老人保健施設（定員 88 名）
 通所リハビリテーション（定員 10 名）
給与：①基本給 192,400 円
 ②地域手当 19,240 円 職種手当 25,000 円
 ①+②月収 236,640 円
 ※試用期間中の給与 212,000 円
待遇：昇給年 1 回、賞与年 2 回
福利厚生：各種社会保険完備
 退職金制度・確定給付企業年金制度あり
勤務時間：8：30～17：00
休日：土日祝日、夏季休暇・年末年始休暇あり
応募方法：電話連絡の上、履歴書を持参又は下記宛てに郵送
交通：横浜市営地下鉄「伊勢佐木長者町駅」より徒歩 5 分
 JR「関内駅」「石川町駅」より徒歩 10 分

問い合わせ先

〒 231-0036 横浜市中区山田町 1-1
 TEL：045-261-8821 FAX：045-261-8838
 URL：http://www.ekisai-yokohama.com/
 担当者：リハビリテーション室 佐野

お願い
事務局からの

●届出内容を変更される方

住所・勤務先・氏名・送付先等の変更がある方は、『変更届』を①郵送又は②FAXにてご提出願います。(随時受付)

届出書類は、神奈川県作業療法士会ホームページ公式ウェブサイトのINDEXより、ダウンロード可能です。なお期日までにご提出いただけない場合は、次年度(2019年度分)の会費が自動引落としとなり、返金を致しかねます。

作品大募集!

作業療法士と関わる中で作られた対象者様の作品を県士会ニュースに掲載しませんか？紙面の表紙を彩る素敵な作品を募集しております！

応募方法: 1～7を記載し、作品写真を添付して下記アドレスへメールしてください。

1. 作品タイトル
 2. 作者のお名前とふりがな
 3. ご年齢
 4. プロフィール
 5. 作品について作者から一言
 6. 担当 OT のお名前
 7. 担当 OT のご連絡先 (Email、電話番号など)
- お名前、ご年齢は任意となりますのでお気軽にご相談ください。

募集締め切り: 随時募集しております。

お問い合わせ: Kouhou-sakuhin@kana-ot.jp

編集後記

すっかり春風が心地よい季節になりました。いよいよ新年度のスタートです。心機一転、昨年度できなかったことや新しいことにチャレンジしてみたいものです。県士会がより一層盛り上がるようなニュースを今年も届けていきます！（ゆず）



一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース 〈190号〉2018年4月発行(年6回発行)

発行責任者 錠内 広之
 編集責任者 神保 武則
 編集担当 出口 弦舞(国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科)
 山岡 洸(新戸塚病院) / 佐藤 愛(新戸塚病院)
 安田 優子(横浜旭中央総合病院) / 丸岡 ちひろ(済生会横浜市東部病院)
 井部 賢吾(北里大学東病院) / 松井洋鷹(澁野辺総合病院)

印刷 発送 株式会社高陽印刷所
 事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301 号
 TEL/FAX : 045-663-5997
 月火水木金 10 : 00~15 : 00
 メールアドレス : jim@kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト

<https://kana-ot.jp> → 作業療法 神奈川 検索

Facebook

<https://www.facebook.com/kaotwebkan>

Twitter

<https://twitter.com/kaotwebkan>

